

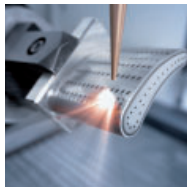
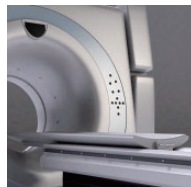
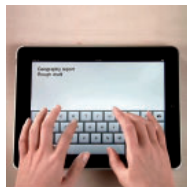
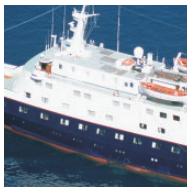
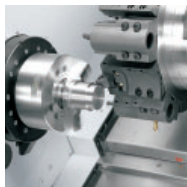
MORI SEIKI
THE MACHINE TOOL COMPANY



第63期 中間

2010年4月1日—2010年9月30日

株主 通信



株式会社 森精機製作所

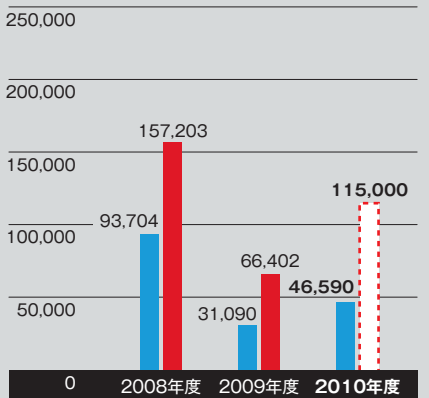
(証券コード：6141)

Striving to become **GLOBAL ONE**

お客様にとって、一番の工作機械メーカーでありたい。
 世界中のモノづくりの現場をこれからも支えていきたい。
 常にモノづくりの原点を支える工作機械の総合メーカー、森精機製作所。
 自動車や船舶、航空機、ロケットから医療分野まで、
 およそさまざまな製品の開発や製造に関わっています。
 工作機械の新しい価値を世界中のお客様に提供することで、
 豊かな社会づくりに貢献していくこと、これが私たちの使命です。

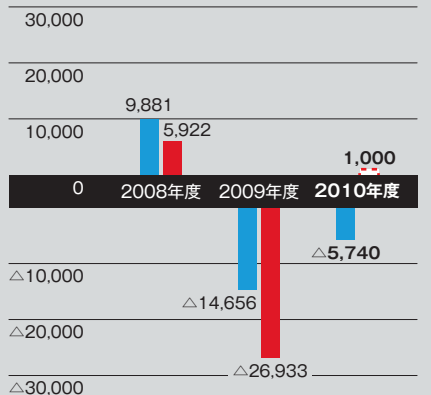
連結売上高

(単位：百万円)



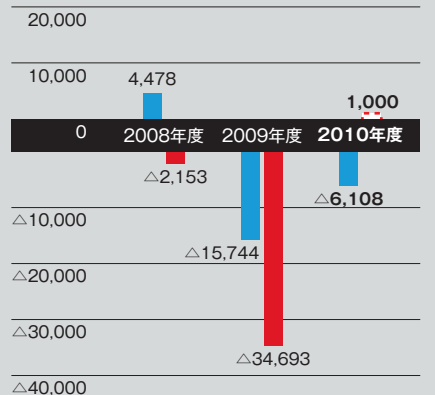
連結営業利益

(単位：百万円)



連結中間(当期)純利益

(単位：百万円)



グローバルな事業展開を進め、 中長期的な成長に向けた施策を実行します。

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

ここに第63期中間期(2010年4月1日から2010年9月30日)の株主通信をお届けするにあたり、ごあいさつを申し上げます。

当期の工作機械業界の受注環境は、着実に改善傾向にあり、日本工作機械工業会の工作機械受注額は昨年12月から前年同月比増を継続しております。円高の長期化に対しては懸念を残しつつも、当社グループの営業活動においては、今後も更なる受注拡大が十分期待できるものと考えております。

このような経営環境下において当社グループでは、販売実績累計28,000台のベストセラーとなった「Nシリーズ」をさらに進化させた「Xクラス」を発表し、CNC旋盤・立形マシニングセンタ・横形マシニングセンタ・複合加工機それぞれに新製品を取り揃えました。「Xクラス」は、時代の要求に応えるべく、市場ニーズを反映し、既存製品を多角的に分析することで、機械剛性や省エネ対応、安全規格などにおいて高いレベルでの製品化を実現しております。高精度かつ高品質、さらには信頼性を兼ね備えた新製品のご提供により、お客様の多様なニーズを強力にサポートいたします。また、最終年度を迎えた第二次中期経営計画「PQR555」を締めくくるにあたり、製品品質の向上や人材育成に更なる注力を図り、経営体質の一層の強化に取り組みます。

独国GILDEMEISTER AG(以下、ギルデマイスター社)との協業体制に関しましては、共同販売・サービスの拡大、新機種開発、部品供給、ファイナンス等の重要分野で本格的な提携を推進しております。その一環として、日本国内においては、コストパフォーマンスに優れたギルデマイスター社製のCNC 5軸制御マシニングセンタ「DMU 50 eco」の受注を開始いたしました。また、米国で9月に開催された国際製造技術展(IMTS)では、ギルデマイスター社との共同出展を行い、

工作機械業界におけるリーダーとしての存在感を示し、「Xクラス」を含む39機種の製品に対して多くのお客様よりご好評を博し、目標を上回る受注をいただきました。

利益配分につきましては、将来の事業計画、業績、財務状況、新製品や新技術を中心とした開発投資及び生産投資の充実等を総合的に考慮し、安定的かつ永続的に配当を実施していくことを基本方針としております。第63期中間配当としましては、当社の業績と経済情勢を勘案し、1株あたり10円を12月1日からお支払いすることといたします。

今後とも、更なる事業拡大へ邁進する所存でございますので、株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

2010年12月



取締役社長 工学博士 森 雅彦

さまざまな分野で活躍する製品づくりに、森精機のマザーマシンが活躍しています。



自動車

身近な存在である自動車やオートバイの部品の多くは、工作機械から生み出されています。特に自動車はすべての産業の中で、最も工作機械が活躍している分野です。



トランスミッションケーシング



CNC旋盤

[工作機械の代表]

主軸によりワーク(加工物)に回転運動を与え、切削工具を押し付けて旋削加工を行う工作機械の代表機種。



船舶・建機

都市建設に活躍するブルドーザーやパワーショベルといった建設機械、人や物資を大量に輸送することのできる船舶の大型部品も工作機械から生み出されています。



スクリュー



航空・宇宙

航空機やロケット、人工衛星など高度な技術と精度が要求される航空宇宙産業は、現代社会における最先端分野のひとつです。

高精度な部品加工を通して、最新の航空機やロケットの開発・製造を工作機械は支えています。



高圧コンプレッサハウジング



マシニングセンタ

[多機能タイプの工作機械]

固定したワークに対して、主軸に装着した回転工具で切削を行う工作機械。主軸の位置に応じて立形と横形があります。



発電・資源・エネルギー

世界の原動力となるエネルギー分野の諸産業も、石油探掘装置の部品加工などを通して、工作機械と密接に関わっています。海底や砂漠といった過酷な状況下で行われる石油探掘の現場も、工作機械の多大な恩恵を受けているのです。



ビット



電機・通信・半導体

デジタルカメラや液晶テレビに代表されるデジタル家電、高機能化が進む携帯電話などの活発な製品開発に伴い、半導体製造装置や液晶製造装置の設備需要が高まっています。工作機械は、こうした装置部品の加工を通して、製品の開発サイクルの短縮に貢献しています。



ハウジング(真空ポンプ)



精密・金型

あらゆる製品の品質を決定付ける金型から、微細化・高精度化が進む精密部品まで、高度な加工が要求される分野においても工作機械は欠かせません。工作機械が進化することで金型や精密部品の品質は高まり、優れた製品が世に送り出されています。



テールランプ用コア金型



医療

日進月歩で進む医療分野の発展も、工作機械が支えています。CTスキャン、MRIなど最新の医療機器の部品から、人工関節や人工骨など体内に直接装着する医療器具まで、高品位かつ超高精度が求められる加工も工作機械が実現しています。



歯科治療用高速スピンドルヘッド



複合加工機

[新時代の工作機械]

1台のマシンに複数の工程を集約してマシニングセンタと旋盤を凌ぐ加工能力を発揮。ワークの材料や形状の多様化・複雑化に対応することができ、生産性を大きく向上させます。

新シリーズ国内初デビュー **X class** 誕生!



2010年10月28日から11月2日まで東京ビッグサイトにて第25回日本国際工作機械見本市「JIMTOF2010」が開催されました。販売実績28,000台を誇るベストセラーNシリーズをさらに進化させた、時代の要求に応える新シリーズ「X class」を国内で初めて出展いたしました。

高精度・高効率複合加工機
NTX1000/SZM HSC
NTX2000/1500SZ

MAPPS IV 搭載



高剛性・高精度CNC旋盤
NLX2500/700
NLX2500MC/700
NLX2500SY/700

MAPPS IV 搭載



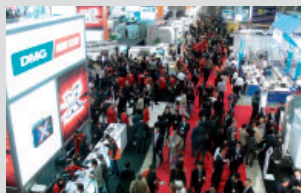
高精度高速立形マシニングセンタ
NVX5080/40

MAPPS IV 搭載



高精度高速横形マシニングセンタ
NHX4000
NHX5000/40

MAPPS IV 搭載



ギルデマイスター社との業務提携後初めてとなる今回のJIMTOFでは、両社共同のブースを設け、全出展社中最大となる2,600m²のブース内に15台の新機種を含めた35台を展示。新シリーズ「X class」には来場者からの熱い視線が寄せられていました。

GILDEMEISTER AG (DMG) との業務及び資本提携。

グローバルな工作機械市場でのリーダーシップ確立を目指して

2009年3月に始まった両社の業務及び資本提携は、販売拠点の統合、部品供給、共同開発、顧客向けファイナンス事業など、飛躍的に進展しており、両社の有する技術的な優位性と強力な販売網を合わせたサービスで、これまで以上にお客様の生産性の向上に貢献していきます。今後も両社の強固な協力関係のもと、工作機械市場における事業展開をさらに拡大、強化いたします。



GILDEMEISTER AGの会社概要

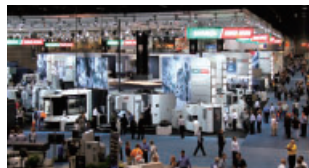
名称	GILDEMEISTER AG	業績(2009年1月~2009年12月)
主な事業内容	工作機械の製造、販売	売上高 1,181百万ユーロ
設立年月日	1870年(明治3年)10月1日	営業利益 32百万ユーロ
本店所在地	Gildemeisterstr. 60 D-33689 Bielefeld Germany	純利益 5百万ユーロ 総資産 1,153百万ユーロ
代表者	Ruediger Kapitza CEO	
資本金	118.5百万ユーロ	当社グループはDMG株式を2,279,500株保有する筆頭株主です。
従業員数	5,450名(連結)	

協業事例紹介

1

販売拠点の統合

DMG/Mori Seiki USAは「IMTS2010(第28回国際製造技術展)」(9/13~18)において、両社の協業体制を全米レベルで初めて披露し、大成功を収めました。



IMTS史上最大の2,790㎡を占めるDMG/Mori Seiki USAの展示

2

共同開発

DMG上海工場で生産された立形マシニングセンタ、ターニングセンタを当社の製品ラインアップに追加。また、森精機からは高精度大型複合加工機をDMGにOEM供給。お客様の要求に幅広く対応しています。



DMG上海工場で生産されるターニングセンタ「DuraTurn 310 eco」



長尺・大径ワークの高速・高精度加工を可能にした大型複合加工機「NT6600 DCG」

3

リース事業会社を設立し 顧客向けファイナンス事業に参入

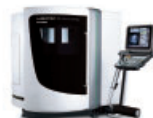
三井物産株式会社とDMG・森精機の三社共同出資により、お客様の購入支援を目的とするリース事業会社を2009年11月にドイツで設立。今後欧州主要国にサービスを拡大することにより、既存顧客の受注拡大、新規顧客の開拓を進めてまいります。



4

製品ラインアップの拡充

旋盤から多種多様な5軸加工機まで揃ったフルラインアップは文字通り世界一となり、お客様に最適な機種をお選びいただけます。



LASERTEC シリーズ
高品位レーザーによる微細3D加工、マーキング、超精密切断やドリル加工をあらゆる金属や新素材に対して実現



DMU duo BLOCKシリーズ
最小の占有スペースで最大の作業空間を実現

中期経営計画

全世界のお客様に第一級の製品とサービスをご提供するために。

当社グループは、2008年度から2010年度の3年間を実行期間とする第二次中期経営計画「PQR555」を推進しております。Pは人材(People)、Qは品質(Quality)、Rはリスク管理(Risk Management)のそれぞれ頭文字を、555は目標とする数字を表現しております。PQR555の基本方針は(1)成長の持続、(2)収益構造の強化、(3)グローバル経営品質の確立を3つの柱としています。「第一級のお客様」に対し、「第一級の製品」、「第一級のサービス」を「第一級の社員」が提供することにより「グローバルワン」を達成します。



1 成長の持続

日本、米州、欧州など成熟した市場での安定した成長を図る一方、急速な成長を遂げているBRICsなどエマージング市場においては、積極的なシェア拡大を目指します。各地域でのアプリケーションセンタの開設や展示会出展を通して森精機を広くアピールし、その成果を上げるとともに、未来の成長にもつなげてまいります。

成長の持続

2 収益構造の強化

損益分岐点を大幅に引き下げる取り組みを強化し、収益構造の強化を図ります。そのために設計段階での原価低減を図るとともに、生産効率及び物流効率の向上を図り、製造原価・材料費の低減を追求します。これらの取り組みを通して、長期にわたり、お客様により満足いただける価格、納期で機械をお届けしてまいります。

収益構造の強化

グローバル経営品質の確立

3 グローバル経営品質の確立

P 人材(People)においては、「PQR555」達成のため、グローバル人事管理の導入やスキルに応じた社員教育の実施を進め、着実に成果を上げています。

Q 品質(Quality)においては、高精度高効率な加工を追求し、お客様満足度の向上を図ります。そのため、機械ごとの精度目標設定及び測定を着実にを行い、飛躍的な精度向上を実現しています。また、過去にお客様からいただいた要望を分析し、それらを反映させるべく機械の改善改良を行っています。

R リスク管理(Risk Management)においては、法令順守、事業活動リスク対策を徹底し、ステークホルダーの皆様からの信頼維持を図ります。取り組みの一例としては、万一の災害時にもお客様の操業を止めないことを第一に業務を行えるよう、事業継続計画の策定を進めています。

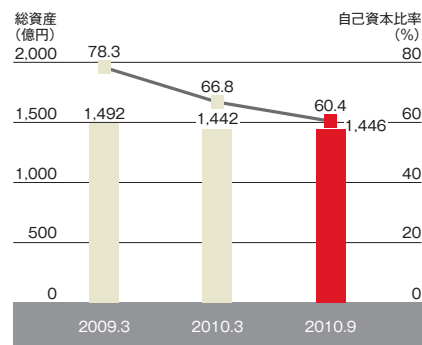
連結財務諸表(要旨)

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前期	当中間期
	2010年3月31日現在	2010年9月30日現在
【資産の部】		
流動資産	62,733	66,774
固定資産	81,433	77,807
有形固定資産	57,657	55,608
無形固定資産	7,757	6,984
投資その他の資産	16,018	15,213
資産合計	144,166	144,581
【負債の部】		
流動負債	34,983	44,787
短期借入金	18,550	27,672
製品保証引当金	845	758
賞与引当金	234	148
その他	15,353	16,207
固定負債	10,465	9,908
新株予約権付社債	2,583	2,583
退職給付引当金	312	318
その他	7,570	7,007
負債合計	45,449	54,695
【純資産の部】		
株主資本	97,271	90,050
資本金	41,132	41,132
資本剰余金	53,863	53,863
利益剰余金	12,820	5,599
自己株式	△ 10,544	△ 10,544
評価・換算差額等	△ 1,002	△ 2,709
その他有価証券評価差額金	1,750	852
繰延ヘッジ損益	943	1,060
土地再評価差額金	1,545	1,545
為替換算調整勘定	△ 5,242	△ 6,166
新株予約権	1,533	1,784
少数株主持分	914	759
純資産合計	98,717	89,885
負債・純資産合計	144,166	144,581

総資産／自己資本比率



当中間期末における総資産は144,581百万円となり、前期末比414百万円の増加となりました。その主な要因といたしましては、現金及び預金が1,761百万円、有形固定資産が2,048百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が3,696百万円、たな卸資産が770百万円、それぞれ増加したことがあげられます。なお、純資産は89,885百万円となり、自己資本比率は60.4%と当中間期において6.4ポイント減少しております。

連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	前中間期	当中間期
	自 2009年4月 1 日 至 2009年9月30日	自 2010年4月 1 日 至 2010年9月30日
売上高	31,090	46,590
売上原価	26,537	33,652
売上総利益	4,552	12,938
販売費及び一般管理費	19,209	18,678
営業損失(△)	△ 14,656	△ 5,740
営業外収益	368	261
営業外費用	596	826
経常損失(△)	△ 14,885	△ 6,305
特別利益	16	7
固定資産売却益	16	7
特別損失	103	379
固定資産売却損	4	20
固定資産除却損	57	19
減損損失	4	—
投資有価証券評価損	32	68
その他投資評価損	4	3
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	15
事業構造改革費用	—	251
税金等調整前四半期純損失(△)	△ 14,972	△ 6,677
法人税、住民税及び事業税	117	85
法人税等調整額	1,073	△ 384
法人税等合計	1,190	△ 299
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△ 6,377
少数株主損失(△)	△ 417	△ 268
四半期純損失(△)	△ 15,744	△ 6,108

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	前中間期	当中間期
	自 2009年4月 1 日 至 2009年9月30日	自 2010年4月 1 日 至 2010年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	53	△ 8,391
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 7,996	△ 1,187
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,583	7,871
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 61	△ 58
現金及び現金同等物の増減額(△は減少額)	△ 6,420	△ 1,765
現金及び現金同等物の期首残高	14,255	7,255
新規連結に伴う現金及び現金同等物増加額	457	260
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,292	5,750

●営業活動によるキャッシュ・フロー

主な増加要因は、減価償却費3,206百万円、仕入債務の増加2,682百万円であり、主な減少要因は、税金等調整前四半期純損失6,677百万円、売上債権の増加4,523百万円、たな卸資産の増加2,819百万円です。

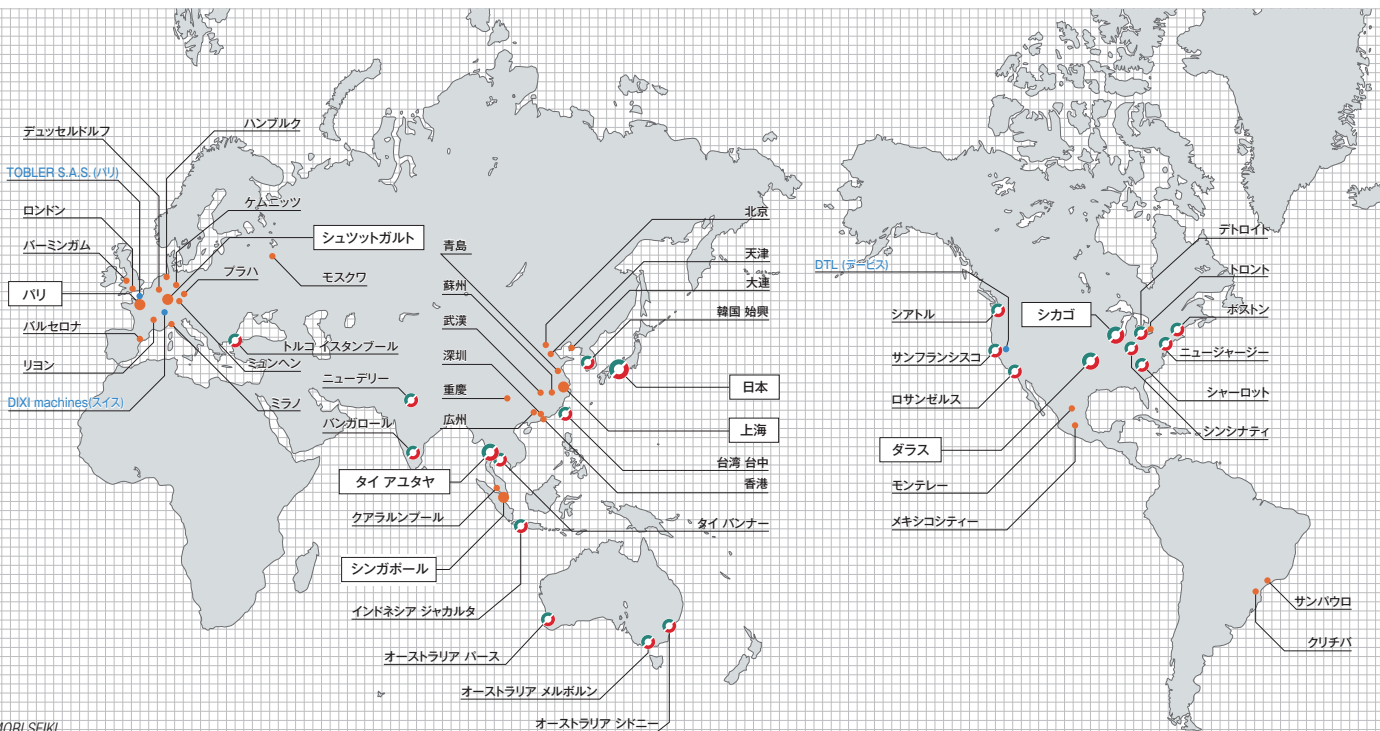
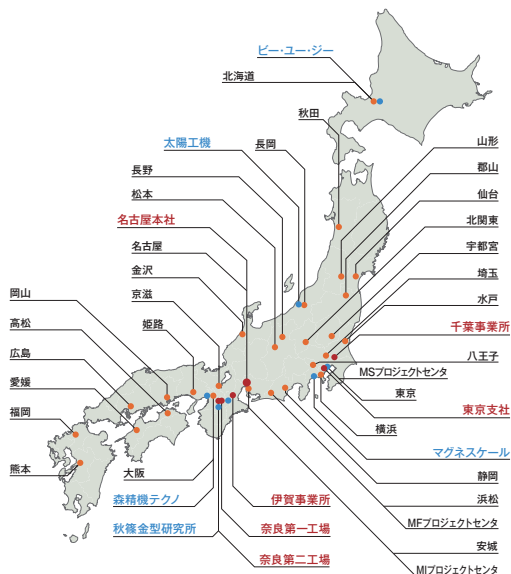
●投資活動によるキャッシュ・フロー

主な増加要因は、有形資産の売却による収入617百万円であり、主な減少要因は、有形固定資産の取得による支出1,108百万円、関係会社出資金の払込による支出586百万円、投資有価証券の取得による支出305百万円です。

●財務活動によるキャッシュ・フロー

主な増加要因は、短期借入金の純増加額9,122百万円であり、主な減少要因は、配当金の支払額1,103百万円です。

ネットワーク



会社データ

会社の概要

2010年9月30日現在

会社名	株式会社森精機製作所 (MORI SEIKI CO., LTD.)		
資本金	41,132百万円		
設立	1948年10月		
本店(登記上)	奈良県大和郡山市北郡山町106番地		
名古屋本社	〒450-0002 名古屋市中村区名駅2丁目35-16 TEL:052-587-1811(代)		
東京支社	〒108-6018 東京都港区港南2丁目15番1号 品川インターシティA棟 18階 TEL:03-5460-3570(代)		
主な事業内容	工作機械(マシニングセンタ、数値制御装置付旋盤及びその他の製品)の製造及び販売		
従業員	2,337名(個別) / 4,001名(連結)		
ホームページ	http://www.moriseiki.com/		
役員	取締役社長 ※ 森 雅彦	専務取締役	玉井 宏明
	取締役副社長 ※ 水 口 博	常務取締役	高山 直士
	取締役副社長 齋藤 豪	常勤監査役	影山 康二
	取締役副社長 平元 一之	監査役	前堀 克彦
	取締役副社長 近藤 達生	監査役	野一色 靖夫
		監査役	加藤 由人

(注) 1. ※印は代表取締役を示しています。

2. 監査役の前堀克彦、野一色靖夫、加藤由人の3氏は、社外監査役です。

株式の状況

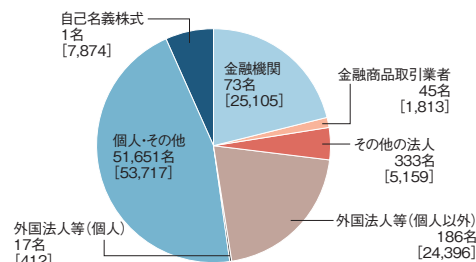
2010年9月30日現在

発行可能株式総数	200,000,000株
発行済株式の総数	110,601,702株(自己株式7,873,610株除く)
単元株式数	100株
期末株主数	52,306名
大株主	

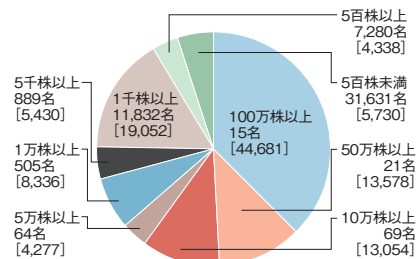
株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	議決権比率(%)
森 雅彦	4,615	4.17
ザバンク オブ ニューヨーク・ジャスティックトリーティー アカウント (常任代理人 株式会社みずほコーポレート銀行決済営業部)	4,431	4.00
ギルデマイスター アーゲー (常任代理人 クレディ・スイス証券株式会社)	4,427	4.00
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,278	2.96
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,071	2.78
野村信託銀行株式会社(投信口)	3,061	2.77
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー (常任代理人 株式会社みずほコーポレート銀行決済営業部)	2,946	2.66
森 智恵子	2,287	2.07
全国共済農業協同組合連合会	2,190	1.98
森 優	1,885	1.70

(注) 当社は、自己株式(7,873,610株)を保有していますが、上記大株主からは除いております。

所有者分布状況 [単位:千株]



所有株式数別分布状況 [単位:千株]



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 ☎0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	株式会社東京証券取引所 市場第1部 株式会社大阪証券取引所 市場第1部
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.moriseiki.com/japanese/index.html (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

 <http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード **6141**

いいかぶ

検索

Yahoo!、MSN、exciteのサイト内にある検索窓に、いいかぶと4文字入れて検索してください。



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入) アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から
抽選で薄謝(図書カード500円)
を呈呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社エーツーメディアの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社エーツーメディアについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30)
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL:info@e-kabunushi.com

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ホームページのご案内

当社ではホームページにて
当社の企業情報を随時開示しています。
製品紹介、各種リンク、サポート情報等を掲載しているほか、
IR情報のサイトでは決算短信等がご覧いただけます。

<http://www.moriseiki.com/>

